

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA研)
第8回文法研究ワークショップ 「コピュラ・存在表現」(2)

「文法研究ワークショップ」は、記述言語学を志す学生や研究者が最新の研究成果や調査データを紹介しあうことにより、学生・研究者の交流や、情報共有を行なうことを目的としたワークショップです。2014年度は「コピュラ・存在表現」をテーマとし、今回はその第2回目です。

コピュラ・存在表現に関しては、

- ・存在表現が複数ある場合の文法的・意味的な違い
- ・コピュラの出現と非出現の両方が観察される言語において、その(非)出現を決定づける要因
- ・コピュラの多様な用法(例:コピュラ(と同形のもの)が表すモダリティ)

など、さまざまな観点からの議論が期待されます。このワークショップを通じて、コピュラ、存在表現に関する広い研究視野を持てるようになることを目指します。

記

1. 開催日時: 2014年12月6日(土) 13:30 ~ 17:30
2. 会場: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所3階304号室
3. 発表:
石塚 政行(東京大学大学院)
「バスク語の2種類のコピュラ文」
佐々木 充文(東京大学大学院)
「ナワトル語イシュキワカン方言のコピュラ文と項のタイプ」
吉岡 乾(国立民族学博物館)
「北パキスタン諸言語のコピュラ」

※お席に限りがありますので、事前に申し込みをお願いいたします。次の情報を下記「申込先」に電子メールでご送付下さい。電子メールの件名は必ず「文法研究 WS 参加希望」として下さい。申込締切は、2014年11月30日(日)です。

- (1) 氏名(ふりがな)
- (2) 所属
- (3) メールアドレス
- (4) 動画公開時のプライバシー: (A)顔が映っても問題ない (B)顔が映るのはNG

申込先: 言語の動態と多様性に関する国際研究ネットワークの新展開(LingDy2)事務局
lingdy-office[at]aacore.net ([at] を@に変えて送信ください)

※本ワークショップは、遠方からの参加も可能になるよう、Ustreamによりインターネット中継を行います。Ustreamによる参加ご希望の方は、上記(1)~(3)の情報、および、Ustream 観覧希望の旨を明記の上、2014年11月30日(日)までに上記「申込先」まで電子メールでご連絡ください。

以上

文法研究ワークショップは、「言語の動態と多様性に関する国際研究ネットワークの新展開」(LingDy2 プロジェクト)が企画・運営しています。本ワークショップに関するお問い合わせはLingDy2事務局まで、電子メールでお送りください。アドレス: lingdy-office[at]aacore.net ([at] を@に変えて送信してください)。